

Forest 通信

Vol. 135

森林インストラクター東京会 会報

2022年4月15日発行

2022年度（令和04年度）FIT総会議事録

日時：2022年（令和04年）
3月12日（土）13:00～15:00
場所：林野会館5F会議室
出席：28名
議事（記録：事務局 藤岡眞）

（目次）
・総会議事録
・会長退任・就任挨拶
（部会報告は134号を参照下さい。各部会活動報告は各部会のホームページをご覧ください）
・投稿・私の好きなフィールド
・新会員からのメッセージ
・事務局だより

1. 定足数

出席28名、委任状167名。期末2月28日現在の会員数346名であり、会則に定める定足数を満たし、総会成立。

2. 会長挨拶

会長 斉藤幸雄

コロナによる「まん延防止等重点措置」発令下にも拘らず、多くの方に総会に参加いただきありがとうございます。

この一年間の我々の活動を振り返ると、一つは、コロナ感染による「緊急事態宣言」が年間211日もあり、これに呼応してFITの皆さんに活動の自粛をお願いしました。活動自粛期間以外でも、諸活動における参加人数を絞るなどの様々な工夫をして感染防止に努めてきていただきました。このことが感染防止に役立ったと思います。来年こそは、1年間フルに活動できる年となることを期待しています。

もう一つの特徴は、広報部会がまるっきり新しくなったことです。そしてホームページ（HP）が昨年4月より新しくなりました。新しい広報部会、新HPに関しては、宮崎さんがチームリーダーとなってプロジェクトチームをつくり、1年間をかけて討論を重ねて、4月にスタートを切りました。旧広報部会のメンバーの多くが辞めてしまい、当時のプロジェクトチームのメンバーが新しい広報部会のメンバーとなりました。これまで長い間広報部会を支えてきた、前のHPを担ってきたメンバーの方々には、大変つらい思いをさせていただきましたが、新しいステップに移行して、今のこういった形となりました。

本総会で昨年度の活動を総括し、来年度の活動方針に反映させていただきたい。十

分な議論をして、本会が来年度へのキックオフになるようにしてほしいと思います。

3. 議長選出

令和元年の古谷一祐さんを指名

4. 2021年度活動総括報告

事務局長 藤岡 眞

昨年の総会(2021年3月13日)は、東京都に1月8日より適用となった第2回目の緊急事態宣言下で開催されました。一旦3月21日に緊急事態宣言は解除されましたが、約1か月後の4月25日より6月20日まで第3回目が発令となり、更に7月12日より9月30日まで第4回目が発令されました。2021年は、通算で211日間が緊急事態宣言下にあったこととなります。FITとしても、会員に対して「緊急事態宣言下でのFIT活動の自粛」をお願いしました。緊急事態宣言が適用となっていない時期においても、感染拡大防止に配慮した活動となり、各イベントへの参加者人数を絞る等の実施となりました。また天候の不順も相まって、2021年度の活動は2020年度に引き続き、かなりの影響を受けました。CONE保険の利用実績では、2019年度は、会員1,291名、一般3,023人、計4,314人。2020年度は会員488人、一般1,226人、計1,714人。対して2021年度(1月末までの11か月分)は、会員723人、一般1,469人、計2,192人でした。2020年度よりは3割ほど利用数が増えましたが、コロナ前の2019年よりは半減しています。

2021年度の活動方針として、①知名度アップ活動促進、②活動支援助成金制度の活用、③活動参加者のすそ野拡大の推進を挙げました。①では、今期より新体制となった広報部会により新しく立ち上げたFITHPによって、一般読者へのアピールが強化され、充実したものになりました。また、FIT知名度アップの一環として2016年度から実施している「山の日」制定記念まるごと!高尾山グリーンクリーン作戦は、残念ながら昨年度に引き続き中止となりました。②では、“すみだ祭り”を始めとするクラフト関連イベントは、ほとんど中止となりました。“日比谷公園みどりのフェスティバル”は、Web開催となりWebでの出店となりました。活動支援助成金制度の活用は「山の日」制定記念まるごと!高尾山グリーンクリーン作戦関連で事前に用意した横断幕等に留まりました。③に関しては、事業部会で実施のイベントにおいて、できるだけ多くのメンバーにイベントの主幹事を経験してもらおう観点より、特にふれあい事業での主幹事の入れ替えを図りました。また入会年次の若いメンバーを対象にした「体験」参加を促進しました。

2021年度も主にコロナ関連で予定した活動が十分にできなかったことも踏まえ、活動方針は2022年度に引き継いでいくことに致します。

5. 2021年度収支決算報告

会計 横井行男

2021年度の繰越金2,492,453円、内百万円を取り崩し、特別会計に繰り入れた。収入1,852,511円、支出1,160,667円。当期収支691,844円の黒字となった。期中に10万円の寄付があり、特別収益として計上した。次年度繰越金は2,284,297円。また特別会計(活動支援助成金)については、山の日制定記念まるごとGC作戦関連の25,787円のみであった。

6. 監査報告

監査 飯塚義則

監査の結果、適正処理を確認

7. 活動総括報告、並びに決算報告に対する質疑・応答

Q:HP関連の費用が今後増えていくような説明があったが、どういった内容でしょうか？
(宮崎健)

A:部会レベルでのHP管理費用が今後増える可能性に言及しましたが、決算とは直接関連しない内容でした。別の場での取り扱いとします。(会計:横井行男)

Q:コロナ感染が広がる厳しい中での活動で、感染者も出さず、事故もなかったことは素晴らしいし、流石だと思います。一方、活動総括報告は、部会の活動に限定されていません。FITでは部会に属していない活動をしている方が多くいます。例えばパウロ、鳩ノ巣、森遊倶楽部、やまにこ会など枚挙にいとまがないほどです。FITの知名度アップや社会的にも貢献しています。こういった活動を知らないFIT会員も多いので、FITでもこういった素晴らしい活動を活発にしていることを活動報告に加えると良いと思います。

他に、人数は少ないかもしれませんが、都内の各公園で自然観察や整備活動などをボランティア的にしている人がいて、これも素晴らしい活動です。こういった人のことも言及した方がよいと思います。事務局長、会長は部会の活動だけではなく、そういった方々の活動を含めて全般に目を向けていただければよろしいかと思います。(津田勝)

A:総括報告には、登録グループなどの活動には言及されていませんでした。今後の課題とします。(事務局)

Q:「友の会」は、素晴らしい活動をしていると思います。一方、収支は赤字となっています。以前にも似たような質問をしたのですが、本年度の決算をみると、予算に対しても支出が超過しており、その額が増えています。「友の会」が赤字になっても、やっていく意義を含めて検討して頂きたい。(津田勝)

A:経費削減に加えて、会員増を目指したが、コロナ禍になって、感染防止の為に会場を広くせざるを得ない、ここ最近公園の使用料が有料となりました。他の経費は、削減の努力をしましたが、予算を超えてしまいました。10名程度の友の会会員より徴収する会費では費用を賄い切れませんでした。合格後のFITへの貢献度も考慮してご支援いただきたいと思います。(友の会運営部会 芝原久)

Q:森林インストラクター受験者の増加策などに関して、全国森林レクリエーション協会に友の会の活動を知らしめて、協力するというような活動はやっていますか？また友の会の会員数を増やして収支改善を図る為に、例えば資格取得のユーキャン等に働きかけるなどの工夫をした方がよいのではないのでしょうか。(津田勝)

A:全国森林レクリエーション協会も、森林インストラクター資格試験の受験者が減少していることに危惧をしており、今般森林インストラクターの意見を聴取すべく座談会が企画されています。FITより長谷川事業部会長と友の会の芝原が参加してPRをする予定です。

ユーキャンとのタイアップは検討したいと思っています。またパンフレットなどを利用して現FIT会員に友の会の活動への理解を深めて貰うとともに、一般の方に森林インストラクターの活動をアピールして行きたいと思っています。(友の会運営部会 芝原久)

8. 4～6の採決

拍手を以て承認

9. 令和04年度(2022年度)運営体制

会長	宮	入	芳	雄	(05年)	新任
副会長	入	江	克	昌	(27年)	新任
事務局長	藤	岡		眞	(28年)	留任
会計	横	井	行	男	(29年)	留任
監査	熊	木	秀	幸	(28年)	新任
広報部会長	鍛	冶	健	二郎	(28年)	新任
安全部会長	入	江	克	昌	(27年)	留任
事業部会長	長	谷	川	守	(24年)	留任
研修部会長	小	勝	眞	佐枝	(25年)	新任
友の会運営部会長	芝	原		久	(30年)	留任
前会長	斉	藤	幸	雄	(14年)	退任
前副会長	高	橋	喜	蔵	(04年)	退任
前監査	飯	塚	義	則	(29年)	退任
前広報部会長	宮	崎		健	(22年)	退任
前研修部会長	高	橋	喜	蔵	(04年)	退任

10. 9の採決

拍手を以て承認

11. 退任役員・部会長挨拶

暫時休憩後

12. 新任役員・部会長挨拶

13. 令和04年度(2022年度)活動方針(事務局)

2022年度は、新任の会長、副会長の体制となります。新体制の下、斬新な方針が期待されます。

2年以上続いている新型コロナの影響でFITの活動もかなり制限を受けており、まだその終息が見えない状況です。これまで以上にお客様およびFIT会員の安全を第一とした活動が前提となりますが、従来から掲げている以下の三つの重点施策は更なる改善の余地があり、推し進めていきます。

①知名度アップ活動促進、②活動支援助成金制度の活用、③活動参加者のすその拡大策の推進です。①については、これまで積み上げてきたイベントをコロナ禍で途絶えさせることなく、継続実施していきます。その際には、従来通りFIT腕章および名札の着用によりアピールします。広報部会と連携して新HPを継続的に充実させて、一般閲覧者への情報提供を図ります。また懸案になっている会員紹介欄の充実、FITの紹介資料(A4リーフレット)、PRカードなどの最新化を実施します。②については、運用実態

の総括と効果分析をしたうえで、対外的かつ社会的貢献度の高い活動に、FIT会員がより多く参加できる機会の掘り起こしを図っていきます。③については、対外的には、広報部会と連携して新HPを活用して一般閲覧者にイベント情報へのアクセスの増進を図ります。対内的には、スキルデータを整理して使いやすくする工夫をします。また事業部会と連携して、実施中の体験活動の促進、イベントを主幹事として実施する人材の育成を図り、新規案件を受け入れる人材確保に努めます。また「運営委員会(森の日)」に、より多くの会員の意見が反映さえるような工夫を検討します。

14. 各部会活動報告、年次計画(各部部长)

各部会から令和03年度(2021年度)活動報告と令和04年度(2022年度)運営計画が報告されました。(内容は会報134号参照方)

15. 13~14の採決

拍手を以て承認

16. 令和04年度(2022年度)収支予算

会計 横井行男

収入1,801,400円(内会員1,714,380円、友の会87,000円、利息20円)、支出1,444,155円(内交通通信経費380,000円、一般経費1,064,155円)。当期収支は(収入-支出)で+357,245円。

特別会計(活動助成金)の2022年度年初残金は、2,114,626円。

17. 16に関する質疑・応答

Q:研修部は参加者よりの収入を計上しているが、友の会、事業部会の収入は予算に含まれていません。収入の把握、収入の種類をどうとらえるか。収入がありながら、支援助成金を申請するのは問題ではないか。会計制度自体を見直す必要があるのではないのでしょうか?(宮崎健)

A:FITの予算であり、研修部会はFIT会員からの参加費を見込んで予算に載せていますが、事業部会の収入は、外部の一般参加者から徴収した参加費であり、FITの予算には載せていません。この一般参加者からの参加費に関しては、おそらく事業部会発足以来事業部会内で管理しており、従来通りの処理をしています。(事業部会 長谷川守)

Q(参考意見):過去に事業部会の収入に関して、総会で同じような質問があり、総会で参考に事業部会の決算報告をしたことがあります。但し、それ以後皆さんあまり関心がなかったのか一度きりでした。(津田勝)

A:事業部会のふれあい推進事業は、林野庁との協定イベントであり、森林センターにはイベントごとに収支を報告しています。FIT総会では報告はしていないが、協定相手にはきちんと報告していて、これまでクレームもなく、粛々と行われています。(事業部会、長谷川守)

Q:事業部の活動としては良いが、別途収入がありながら「山の日」とか「すみだこどもまつり」への支援助成金を請求するのはいかがなものか。過去に登録グループの「FIT杉並会」がHPのサーバー費をお願いしたが、断られた。登録グループに対する支援が薄いと思うので、検討してください。(宮崎健)

A:FIT予算には、友の会を含む会員からの年会費を収入として載せている。この会費

をFIT活動のなかでどう使っていくかが支出となっており、収入と支出はそれらを網羅しています。

登録グループへの支援に関しては、過去にも検討したようですが、実現していません。今後要請に従って別途「森の日」で審議しますが、すべての登録グループに公平に支援することが大切だと考えます。今後の課題とします。(事務局)

18. 16の採決

拍手を以て承認

19. 議長解任

20. 閉会(15:00)

会長退任の挨拶

齊藤幸雄

皆様、4年間会長として任務続行出来たことは、会員の皆様の暖かいご理解があってこそと熱く感謝いたします。

4年間で、最も重要な判断を強いられた事は、2件ありました。

ひとつは、新型コロナ感染による緊急事態宣言発令に、FITとして、いかに対応するか・・・と言うことです。森の日のメンバーと相談し、事務局長と意見交換をして「緊急事態宣言中は、活動の自粛を要請する」との判断をしたことです。

もう一つは、懸案であった、広報部会の改革とホームページの刷新でした。ホームページはプロジェクトチームを発足させて、丸1年間議論しました。とともに、広報部会の刷新をはかり、4月から、新ホームページと新広報部会が発足することができました。

新型コロナはここに来てようやく減少傾向にあり、3月21日にすべての蔓延防止対策が解除されました。が引き続き、感染防止に最新の注意を払い事業を推進していただくことは、言うまでもありません。新ホームページもスタートして1年が過ぎましたが、皆様の投稿増や閲覧回数の増加など、さらに身近なホームページとして、更なる向上を期待してやみません。

4年間、皆様どうもありがとうございました。これからは、1会員として、FITを見続けて参ります。

最後に、心より皆様に御礼を申し上げて退任の挨拶といたします。

新しくFITの会長に就任した宮入です。いや～本当のことを言うと、私は会長の器ではありませんし会長になりたいと思っただけでもありません。ですから最初に声が掛かった時、逃げました。色々な理由をつけて一生懸命逃げました。でも逃げ切れなかった。

しかしなってしまうたら仕方ない。出来る限りのことをしたいと思います。幸い事務局長を始め、各部長など頼りになるメンバーが揃っています。私でも何とか出来るかもしれません。東京会が発足して約30年。順風満帆に見えるFITですが、30年も経つと小さなほころびが出てくるものです。それらを早めに見つけて修復し、会員が気持ち良く過ごせるFITにしたいと思います。

FIT会員数 減少の時代へ向かうのか

順調に会員数を伸ばしてきたが、2021年、2022年の会員数は346名と頭打ちが顕著となった。

前号でお知らせした資格試験受験者数をみると、受験者がここ20年近くの間、約1/5近くに一直線に減少している。ただ、森林インストラクターだけが減少しているのかといえそうともいえない。2011年対比で見ると森林インストラクターは50%、税理士は75%、司法書士は46%など減少が激しいものは結構ある(インターネット調べ)。

自然保護に対する関心は高まっているはずなのに・・・解決の妙案は今のところない。

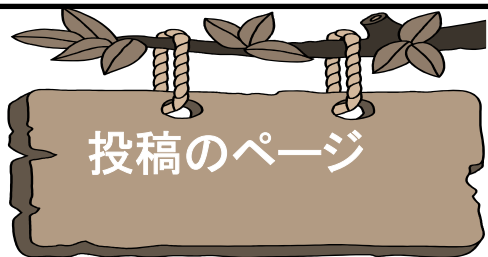
合格者数は多いほうが良いが、FITへの入会率の向上を図ることも大切だ。東京都の合格者に対する入会率は年

によってばらつきはあるがおよそ60%程度(他県在住者含む)である。

今年は関係団体と一体となってこの問題に取り組む態勢だ。今後、このまま減少が続けば、FITの看板イベントである「親子観察会」や「新年観察会」など人手の要るイベントの開催も危ぶまれる。会員数増加を図ることは勿論だが、現状に応じた方法でイベントを実施するなど無理のない柔軟な対応が必要となるであろう。V字回復を願うばかりである。(編集部)



実施年	受験者数
2003	1246
2011	559
2017	443
2018	383
2019	382
2020	277
2021	284



竹について考える

22年3318

福重昌行

はじめに

私は世田谷区喜多見にある、その昔タケノコの生産地として使われていた竹林で10数年にわたり管理に携わってきました。初めは細い竹が密集した状況でしたが10年を経過したところから太い竹が発生するようになりました。

FITの皆さんの中でも竹に係わる人は少数派だろうと思えますので、少し竹について考えてみたいと思います。

本来竹は我々の生活にとつてなくてはならないものでした。正月の門松、祭礼の時の神の依

代、弓や槍としての武器、漁具

や農具、建材、器、遊び道具、工芸品など様々な場面で使われてきました。昔話の「おじいさんは山に柴刈りに」これは燃料として、生活の重要な部分となっていたことを知る人が少なくなりました。

プラスチックが使われだして、竹が使われなくなつて竹林が放置され荒廃した竹林が増え、悪者になって久しいですが、竹が悪いのではありません、放置した我々が悪いのです。

不思議な植物

竹は1日に1mも伸びるといわれます。天に向かって一直線に、一定の間隔で節を作り、中空で



緑の葉っぱをつけ、活発な光合成をする。また太さと節の数はタケノコの時点で決まってしまう。タケノコは先端と節の上に成長帯を持ちそれぞれが伸

長する、肥大伸長する木本とは異なり肥大しない。また葉は春先に入れ替わる「竹紅葉」と

言われ順次葉を落とし用意された葉を出す。落葉樹が一斉に落とすのとは異なる。しなやかで、弾力があり、縦方向にき

れいに割れるなど特徴がある。竹の持つ不思議な力が古くから、神聖なものとされた。

「木元竹末」きもとたけうらと読み、木は根元から割り、竹は穂先の方から割るとききれいに割れるとの言い伝え。

竹の種類は

16属、600種とも。日本では3種に整理されている。

竹 地下茎が横に長く伸び、タケノコの成長とともに竹皮がはがれる

笹 地下茎が横に伸びるが、タケノコが成長しても竹皮が落ちない

これには例外がある。バンブー 地下茎は短く、竹が株立ちして一か所に群がって生える。

災害に強いのか 私が小さいころ、「地震の時は竹やぶに逃げろ」と聞かされていました。

これは正しいのでしょうか？ 竹の根は浅く、地下茎は同じく浅いところで絡み合っています。せいぜい50〜60cmの深さです。地割れには効果があるかもしれませんが、横方向、地滑りには弱いといえます。現在各地で起こっている土砂災害は、

手入れがされず、放置された竹林が、原因の一つかもしれません。

食用としてのタケノコ 日本で食べられているタケノコは、モウソウダケ3月〜5月、マダケ5月、ハチク5月、ホテイチク(コサンタケ)5月、カンザンチク(ダイミョウチク)5月下旬、シホウチク9月四国地方、ネマガリタケ雪解け後東北地方、が知られている。

そのほか、穂先タケノコとして

2.5~4mに成長したタケノコの根元を揺すり落ちてきた穂先を利用する。これはエグミもなく、歯ごたえもよい。メンマや水煮で出されている。

私もこれを茹でたのち、半日干して、塩つけにして保存食として利用している。

美味しい筍は、穂先が黄色いものエグミが少なく、緑色のタケノコはエグミが強い。

また、掘上げてから時間が経つとエグミが増す。

美味しいタケノコを作るには、施肥、盛り土が必要

竹の成長

竹は春に筍として成長し、40~60日で竹に成長して止まる。節は60から100個で、孟宗竹は1日20個、タケノコが伸びるときは、数倍の水を必要とするといわれる。

夏から秋にかけて充実、地下茎に養分をため、地下茎にタケノコの芽を作る。

十分栄養を蓄えた芽が筍として成長、芽が多すぎると後の芽は出ない。遅く出ると腐る。

竹の年齢の見分け方

タケノコが出た年の竹を1年生、次の年の竹を2年生と言う。1年生の竹は、節の下に白い蠟質が粉状について、根元に竹皮がついている

2年生の竹は、根元に枯れた竹皮が残っており、節の部分の蠟質が少し残っている

3年生の竹は、根元の竹皮がなくなり、節の部分の蠟質が黒くなっている。

その後は稈の艶がなくなり白っぽくなる。

竹には雄、雌がある

いわゆる生殖的な雌雄ではなく、新しい竹をよく生むと言う意味での雌で、ださないうを雄、タケノコでも雄雌がある。(穂先の黄色いものが雌、緑色のものが雄)

親竹では3年から5年生が多くなるタケノコを出す。

従って、整備管理の際は、これら雌を残すことが大事となる。

竹は一斉に枯れるのか

60年説、120年説などあるが、単純な周期ではなく、開花周期決定遺伝子と開花周期決

定遺伝子が栄養体突然変異を起こして起きる部分開花があり開花の原因は、遺伝子的要因と環境的要因、それに両社の複合した結果で開花が決まるとされ、枯れる前に結実し、あるいは再生竹(小さな竹)を出して回復するといわれています。

間伐作業

間伐は年間を通じて行っています。作業人員と作業量との関係で仕方ありません。

4月のタケノコの時期のタケノコ処理で本数調整ができますし大事な作業になります。

間伐は、両手を広げて歩けるくらいの間隔が理想です。

間伐する竹は、枯れ竹、病気の竹、成長の悪い竹、古い竹、混み合った竹の順で 支障になる竹はその都度伐採します。

間隔は、場所や環境により雪や風の影響を少なくする数本まとめて育てることもあります。

作業道具

専用の道具が必要となります。竹挽きノコ、両刃ナタなど

また、ロープの活用が大事と

なります。

作業で注意すること

竹は縦に裂けやすいので注意が必要です。

混み合った竹林では、絡みが起こり、しなりで反発が起こります。

斜めになった竹は同じく、しなりで反発が起き、刃を入れると撥ねて危険です。事前にロープなどで養生しておくことが必要です。

竹は意外と重いです、足に落とさないようにしましょう

切り口は水平に、斜めに切ると危険です、また地際から節を残しできるだけ低い位置で切り戻しをしましょう。

むすびに

竹は有用植物であり、古くから生活に欠かせない植物として扱われてきましたが、今日手入れされずに放置され、荒れた竹林が広がっているため、植物の多様性が失われたり、災害の一因となっていることから、竹に関心を持ち、竹林の整備に協力いただければと思います。

私の好きなフィールド

植物ガイド20年

末広 坦

そもそも私が森林インストラクターに関心を持ったのは、2000(平成12)年12月の日本山岳会の年次晩餐会の席であった。晩餐会は年1回年末に開かれ、日本山岳会員である皇太子殿下(現天皇陛下)もしばしば出席されている、華やかで権威のあるものである。そこで私は偶然、当時、森林インストラクター東京会(以下FITという)の会長であった石井誠治さんにお目にかかり、食事テーブルを共にした。私はすでに67歳、そろそろ会社員生活も終わりになるので、その後、何かエキサイティングな人生はないだろうかとの私の質問に、彼は即座に「それは森林インストラクターになったらよかろう。」



と勧めてくれた。そこで急遽準備をはじめ、何とか1回で試験をパスすることが出来、2001(平成13)年に資格を得て、未熟な68歳の森林インストラクターが誕生した。

早速現役時代に勤務した会社に行き求職活動をしたら、OB関係の福祉、交流の為のイベントとしての植物観察会の講師の職を2件ほど紹介してくれた。お客様を調べてみると「そろそろ時間が出来たので、夫婦で近所の公園に行って植物でも眺めて、自然に親しみたい。」というお考えの方が多く思えたので、「公園では植物生態学的な説明を中心に、一般ガイドさんの説明も生かし、多角的な楽しいお話をする。」ことを基本にスタートした。我々の講師陣の中には都内有名公園の公認ガイドの方もおり、又、FITの中にも公園を中心に活躍されている方も居られるので教えを請い、2年あまりの内に、何とか形になって来た。

丁度そのころ、会社の住宅事業部の方で、住宅自身の長期寿命は当然のこと、入居したお客様との長いお付き合いが重要であるとの問題意識が芽生え、われわれの植物観察会がお客様との交流の為のイベントとして採用され、2004(平成16)年4月3日、石井会長の新宿での「桜の話と見学」を皮切りに関東一円に展開することになり今日に至っている。この2年ほどコロナ禍でイベントは中止になったが、復活第一号の来る4月2日の「皇居東御苑の桜」観察会が、久しぶりのイベント復活を待ちかねたお客様の熱気で、早々に定員オーバーになったと聞いている。私としてはこのイベントが出身会社の経営方針実践の一助になっていること、ご縁のあった皆様が植物を愛し、人生を楽しむお役にたっていることに深い満足を感じている。

石井元会長からは「90歳を超えても颯爽と案内している姿を見せてください。皆が見ていますから。」と過分なお言葉を頂いているが、最近のボケようでは…。

「安比高原・八幡平・岩手山50kmトレイル、さらに、乳頭山・秋田駒ヶ岳へ」
鈴木 宏治

東北の静かな山々が好きで、踏破後も時期を変えては足を運び、その一部を歩いているフィールドをご紹介します。(関東から離れた遠隔地の紹介となり恐縮です。)それは、奥羽山脈を形成する安比高原・八幡平・岩手山です。

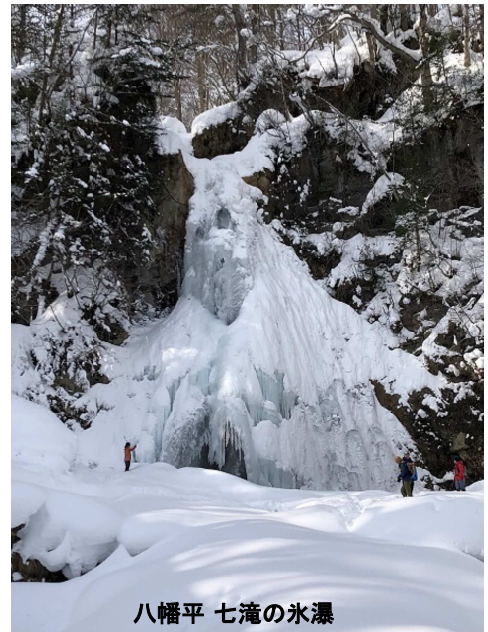
岩手・秋田県境に連なる火山の織りなす連峰で、安比ブナ二次林、ブナ林からアオモリトドマツへと変化する安比高原、源太森、日本百名山の八幡平、畚岳から三ツ石山までの裏岩手縦走路、姥倉山、黒倉山、火口内にさらに小火山体ができだ複式火山の景観を望む鬼ヶ城、そして岩手山へと続く総延長50kmの雲上のトレイルコースです。

安比高原ブナ二次林は、日本森林浴の森100選の一つです。赤川登山口から出発し、安比川を渡ると、建物いっさいなし、木の板で囲まれた浴槽だけがある野趣あふれすぎの安比温泉の野湯に着きます。サワグルミの森が広がる安比岳の山頂を越え、アオモリトドマツの樹林に囲まれた黒谷地湿原との分岐、さらに進むと源太森に到着します。北東北では小高い里山、丘の山名に「○○森」というのがよくあります。西四国(愛媛・高知)では堂々たる山にも「森」がつくのがあります。ちなみに、東北はアイヌ語地名説で、四国は古代朝鮮語で山の意と同源とか。

閑話休題、その源太森から八幡平に出ると、夏にはニッコウキスゲ、ハクサンチドリなどの花が咲き乱れる楽園です。山岳観光道路が山頂の南を通り抜けており、手軽に車で来られる反面、時期・時間帯によっては観光客で混雑気味です。夏秋のみならず、5月中旬の鏡沼の雪解け、通称ドラゴンアイはここ10年ですっかりメジャー観光スポットになってしまいました。

静かな山旅を求めるなら、東北一標高の高い露天風呂がある藤七温泉の白煙を横目に、畚岳登山口から再びトレイルへ。ハイマツに覆われた緩やかな尾根が連なる登山道を行くと、八幡平三大眺望地に数えられる畚岳に到着します。さらになだらかな道を行き、諸衾岳、嶮阻森を越えると、アオモリトドマツの原生林の中の大深岳北側に、またさらに進んで三ツ石山の鞍部にも、避難小屋があります。このトレイル上には、こじんまりとしたログハウス風避難小屋が点在しています。避難小屋泊が心配であれば、大深岳から源太ヶ岳を通過して、秘湯松川温泉に一夜の宿を求めて下山、翌日コメツガやナラの巨木を見ながら登り返して姥倉山で合流するルートもとれます。

岩手山は山頂までの登山口が7つあり、時期を変え、登り・下りを変えれば、7×7で、何十回でも楽しめます。山頂の隅で2時間ぐらい景色を見ながらボーッとしているのが好きです。コマクサ、シラネアオイ群落が見られる焼走りコースを下りれば、国の特別天然記念物・焼走り溶岩流へと続いています。また、登山シーズン以外でも、八幡平温泉の七滝コース登山口・県民の森から1時間程度のスノーシュートレッキングで(状況次第ではツボ足でも)誰でも行ける七滝氷瀑観賞の自然観察コースは、



八幡平 七滝の氷瀑

途中、動物たちの足跡を見つけながら、落差25mの滝が凍りついでの大迫力で、ここ数年地元以外にも人気急上昇です。

また、三ツ石から50kmトレイルを離れて、一部破線ルートを通して西に縦走コースをとれば、途中、幻想的な白沼を通り、乳頭山へ着きます。千沼ヶ原や、かつてFITで高山植物研修(2014年7月)をした「花の百名山」秋田駒ヶ岳は、大焼砂に群生するコマクサ、タカネスミレ、馬場の小路・通称ムーミン谷の高山植物群も見応えがあり、何度訪ねても新しい発見があります。

北東北の森の針葉樹林、湖沼・湿原と高山植物の風景(そして秘湯)はいつも心を穏やかにしてくれます。



ドラゴンアイ

故郷の山、八石山

小田野 紀芳

子供のころ、祖父について山に行くのが好きでした。雪深い新潟の山間部の話です。祖父の仕事は杉の植林作業だったと記憶しております。

当時、国の政策として、全国的に針葉樹の植林が進められたということを知ったのは、上京後、花粉症に悩まされるようになった数十年後のことです。

前置きが長くなってしまいましたが、私の好きなフィールドの一つに冒頭の故郷の山、八石山があります。八石の由来は昔々、この山の不思議な豆の木に豆が大量に実りそれが八石(一石は現在の約180リットル)もあったという説から、また一帯は地形的には過去の海





底火山であるといわれ、ところどころ火山岩の露出が見られます。500メートル弱の低山ですが故郷の小国町側からは二つの急峻な峰がうかがえ、それぞれ女八石、男八石と呼ばれています。雪深いせいか、低い山にもかかわらず亜高山型のシラネアオイをはじめとする豊かな植生が見られます。

4月の雪解けを待ち、秘密の登山道を上るとオオバキスマレ、スマレサイシンの群落があちらこちらに、また道のカタクリの大群落は圧巻で足の踏み場がないほどです。ブナの芽吹くこの時期、ミツバアケビやタムシバの香る登山道は夢の世界のようです。頂上付近では吸蜜するギフチョウの姿も観察できます。

コロナ禍のため、ここ数年訪れてはおりませんが、私はこの登山道で白花のカタクリとシラネアオイの群落を発見しております。

さらにさらに、このコースは山菜の宝庫でもあることを付け加えておきます。



コトノシ

私の好きなフィールド

みわの会 嶋田佳代

「じゃんけん、ポンッ！」「にげろーっ！」
捕まったらオニです。でも、少しでも高い所に逃げればオニには捕まえられません。タカオニごっこ遊び！ 時にはお寺の境内で！ 時には、地面からニョキニョキと突き出した奇妙なコブがたあ〜くさん有る林！ タカオニごっこに最適！ 近くにはポコポコときれいな水の湧き出る湧水があり、点々と大戦時の防空壕も残っていて足を踏み入れるとカサッ！ ギントカゲが姿を現します。夢中で遊ぶ夕間暮れには遠くからウシガエルの低い鳴き声が聞こえてきます。

そういえば、地面近くまで太い枝を垂れた樹に皆でまたがってギシギシユラユラ。斜面に広がるツツジの植え込みの根元には迷路のようなトンネルが広がっていて、そこでもよく遊んだなあ～

今思えば、あの木はラクウショウ！ それにアメリカキササゲ！ なんということでしょう！ とんんでもない事を！！ とお叱りを受けそうですが、半世紀以上も前の事とお許しください。こんな幼い原体験を残してくれたのが“新宿御苑”です。

かつて通った中学校は今の新宿門付近に新宿高校と並ぶように立地していて、校庭にはメタセコイアの立ち並ぶ“静思苑”の名を持つ林がありました。そうそう、FITに入会した年の新年自然観察会は新宿御苑でしたっけ・・・

様々な思い出と共に新宿御苑は今の活動に繋がる大切な時を授けてくれたのかもしれません。

新入会員（みきの会）からのメッセージ

氏家清高

東京で生まれましたが、子供の頃、夏になると虫を追いかけて夢中になって林や草原をかけ回っていました。家の近くの神社では虹色に輝く玉虫を捕まえたり、側溝にひらひら踊っている糸ミミズを割り箸ですくったり、秋に大群で押し寄せてきた赤とんぼに驚いたり、自然の中にいてワクワクすることばかりでした。

そんな体験からか、自然が好きで、自然を大切にしたいという気持ちが常にありました。都会に自然が少なくなっている現在、微力ながらも自分で自然環境の保全に参加する方法を探していたところ、森林インストラクターの資格と出会いました。

資格取得に向けて友の会には大変お世話になりました。友の会では勉強をしながら観察会、木の伐採やクラフトなどの体験ができ、資格取得後の活動に大いに役立つと思っています。また、友の会ではFITの方との出会いが大いに励みとなりました。今後ともよろしくお願いいたします。

大西正弘

以前から、低山を中心に山歩きはしていましたが、森のことはあまり詳しくありませんでした。一昨年、奥多摩で開催された野鳥観察会に参加したことがきっかけで、森林インストラクターの活動について興味を持ちました。森林インストラクターになりたいと一念発起し、おかげさまで合格することが出来て、この度FITのお仲間に加えていただくことになり大変感激しております。

メーリングリストに登録し、各種案内を毎日のように受信して読んでいますが、FITの活動は本当にフィールドが幅広くて、バラエティに富んでいると実感しております。色々な活動に参加したいと思っておりますが、まずは計画されている研修等を通じてしっかり学び、今後活かしてゆきたいと思っております。

同期の皆さんをはじめ、諸先輩方と色々な場面でご一緒できることを楽しみにしております。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

栗原悦郎

世田谷区在住の栗原(くわはら)と申します。森林インストラクターとして、年齢的に記憶力と暗記力が低下するなか、何とか自分なりに、森林、林業、自然の楽しさを伝えられたらと思います。宜しくお願い致します。

小林綾香

今年FITに入会した小林綾香です。まだ活動に参加できていないので、身近な自然について書きたいと思います。

3年前に始めた家庭菜園を観察していると、生き物たちの小宇宙が広がっていることに気づきます。無農薬でソラマメを育てていたのですが、まずアブラムシがつき、それをナミテントウやヒラタアブ類の幼虫が捕食します。アリのアブラムシから蜜をもらいつつ敵からガード。

ソラマメの周りを寄生バチが飛んでいて、ある日ナミテントウが何か繭を守っているなあと思ったら、寄生バチの繭だったりして、驚きの連続でした。菜園の中ではありますが、自然観察の醍醐味を感じています。

これから活動に参加するにあたって、そんな生き物たちのつながりを学び、伝えることができればと思っています。よろしくお願い致します。

高田裕司

これまで森林セラピストやネイチャーゲームリーダーとして、10年以上、森林や都市公園で、主に大人向けに多くの案内をしてきました。その中で、植物のことや森林の生態系

について関心を持ち始め、FIT友の会の森林インストラクター講座で学び、やっと取ることができました。

森林の持つ保健・レクリエーション機能に重点を置き、五感で楽しむ体験を中心とした案内をしてきました。それに加え、これからは、引き続き主に大人へ向けて、生き物の工夫や森林の仕組みを伝えることにも並行して取り組もうと思っています。

伝える要素にはいろいろな切り口があり、生き物に負けずに様々な工夫をする必要があると最近つくづく感じています。

田中和江

異動があり勤務時間の变化に、コロナ禍が加わり生活が一変した。散歩が日課となり、今までに比べて、自分の時間が増えた。どうしよう?? 燃え尽きた感が漂い、何とかせねば!! 好きなことをしよう。樹木みて、知りたい・夜空みて知りたい・古墳見て知りたい・仕事の合間を縫って勉強、楽しい。これよこれ。充実感、満足。

あと2年でまた異動。朝から夜まで勤務、土日ほぼない状況に戻る。今のうちに、体験できること、学ぶこと、覚えること、もっともっと自然に触れることを楽しもうと。

忘れるくせに知りたがり、筋力も体力も知識もない私を皆様お助けください。よろしくお願いします。

長岡篤

柏市在住の長岡です。高尾山も鳩ノ巣も遠くて時間もかかるのですが、研修やみきの会の活動にはできるだけ参加したいと思えます。これからFITの様々な活動を通じて学び自分の知識、経験を増やしてゆきたいと思えます。

今後ともよろしく願い致します。

早川一二

高尾山の健康登山を続けること10年、植物図鑑を片手に山行を重ねていましたが、

健康・耐力維持のためだけの山登りにややマンネリ感を抱くようになっていました。そんなときに偶然FIT東京会の方々の山行と出会いました。しばらくご一緒させてもらう間に、自然を愛でる心を持った仲間と共に山歩きができたらどんなに素晴らしいことか!と心が動かされました。

そして翌年FIT友の会に入会しました。養成講習に参加して森林や林業について学ぶうちに、樹木の生き残る進化の過程などは、人間の一生にも当てはまることが多く、樹木への関心が深まりました。そして森林の学問的立証を元にした林業の施業方法にも興味が膨らみました。

今後のFITでは、『樹木の生き残り戦略』をテーマに知識を広げながら、一期一会を大切に活動してゆくつもりです。

グループを作って 活動の場を広げよう

FITの中にこんなグループがあれば私も参加できるのに・・・、もっと掘り下げた活動がしてみたいけど希望にあうものがない

そんな会員は自分でグループを作ってみてはいかがでしょうか

グループ登録をすると

- ・FIT会員に自分のイベントへの参加をFITメールで呼びかけることができます
- ・FITホームページのイベント情報に掲載を依頼できます
- ・FITホームページと自分の作ったホームページにリンクを設定できます
(最近の事例)奥多摩秘境の会(2021年)、高尾野鳥倶楽部(2019年)

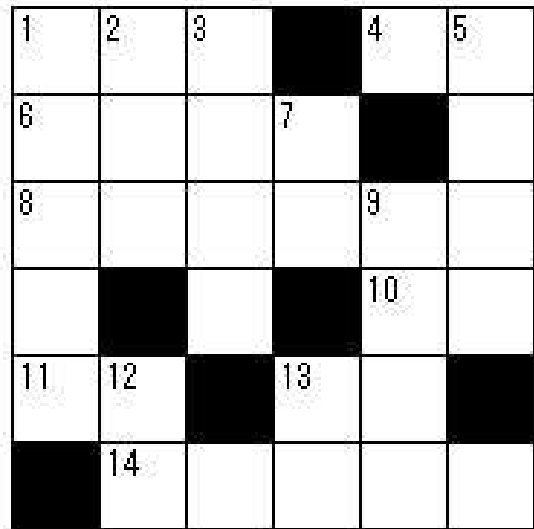
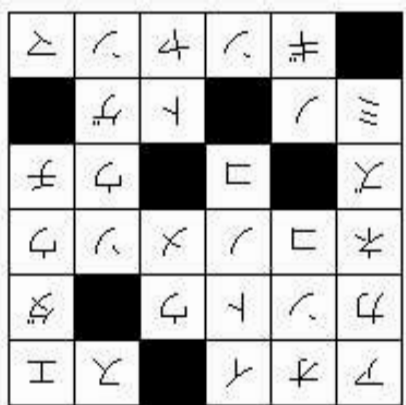
- ・登録には2人以上の会員のメンバーが必要です
- ・登録書式は旧会員のページにあります

タテのカギ

- 1 全国に棲息するげっ歯類
- 2 イチイの別名 北海道ではよくこう呼ばれている
- 3 木材を曲線に切り抜く道具
- 5 良質な丸太を作ったり下層植生の生長を促すためにする森林施業
- 7 早春に咲く良い臭いのする樹木
- 9 草本や灌木からなる植生のこと ステップ、パンパなどと呼ばれる地域
- 12 イネ科に見られる穎の先端にある棘状の突起
- 13 鳥の嘴をこう呼ぶ

ヨコのカギ

- 1 高尾山で最初に咲き始めるスマレといえば〇〇〇スミレ
- 4 スギなどの丸太、太いほうをモト、細い方を〇〇と呼ぶ
- 6 高尾山周辺で一番多いカンアオイ
- 8 早春の溪流ではこの仲間の花が人気です
- 10 コロナででられないので〇〇に居ます
- 11 ほとんどのメスは一生この中から出ないで過ごす、最近見なくなったなあ〇〇ムシ
- 13 ノイチゴはおいしいけれどこれが刺さると後がやっかいだ
- 14 子どもに人気のトンボといえば



* 事務局便り

3月12日(土)にFIT総会が開催され、2021年度の活動報告、決算、2022年度の運営体制、活動方針、予算が承認されました。

東京都に発令されていた「まん延防止等重点措置」が3月21日で解除になりました。引き続き、感染防止対策は実施した上で、各イベントに臨んでください。

☆会員情報:2月28日現在会員数:346名

お知らせ

○FIT名簿改訂

3月31日時点での名簿改訂作業中です。完成次第旧HP会員のページに掲載します。

フォレスト通信Vol.135

発行者 森林インストラクター東京会

編集 広報部会 清水(好) 宮崎

事務局長 藤岡 眞

住所 〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南3-9-23-501

090-1665-4589

メールアドレス: sfujioka0206@yahoo.co.jp